

この度、第2作が出版されました。皆様には私から直接ご紹介させていただきます。地元「みちのく」を魅力的に紹介しつつ、煙のごとき道連れ達とのやりとりの中に夫婦や世代間の今をも問うという作品です。一般書店の他、インターネット書店は Amazon (アマゾン) など、各社で扱っております。次作は舞台をフランスに移す予定です。

〒999-3126 山形県上山市金生西 2-16-4

TEL & FAX : 023-673-1842 森村 廉 (本名 : 森田敬一)

E-mail : xyckr767@yahoo.co.jp

『みちのくフェイバリット・プレイス』 現代奥の細道



Amazonみちのく関連の本で 第2位 になりました。
(1位は、瀬戸内寂聴 あおぞら説法—みちのく天台寺)



もりむら れん

森村 廉

2005年12月

Hon's ペンギン刊

ISBN4-902525-15-1

¥1,365

さあ、行こう！

義経を育んだ平泉、賢治がセロを弾いた羅須地人協会、小町が籠った岩屋洞、ときには艶っぽい愛人と、ときには扱いにくくて振り回す若い道連れ達と共に。芭蕉や西行が旅した、謎めいて妖しげな憧れの地、ドラマチックな物語とロマンの香り溢れる地、みちのくフェイバリット・プレイスへと。白河関、会津、天鏡閣、信夫文智摺、飯坂、仙台、松島、平泉、羅須地人協会、光太郎と智恵子、角館、田沢湖、横手、小野小町岩屋洞、羽黒山、山寺に至る、を編集。

デビュー作

森村 廉

無線技師時代の出張体験による実話短編集。

アジアの国々の都市、奥地で遭遇した事件や考えたことを綴る。

TBSのテレビ番組「王様のブランチ」で紹介されました。

2500-31号 選定図書



『アジアの背中で』 あの日のノートから

2005月2月

文芸社刊

¥1,365